

ぐっと近づいて良く観察してみると、違った視点で、新しい感情が生れてきますよ！



無料相談

学校での動物飼育には、色々な問題点や疑問が生まれてくるものです。その中でも病気に関する問題は、どのように対処するべきか迷われることが多いとお察しします。

それらの不安を解消すべく、栃木県獣医師会では無料の相談を随時受け付けております。お電話での問い合わせ、メールでの問い合わせなど、どのような形でもお受けしておりますので、お気軽にご連絡ください。携帯電話やデジタルカメラで撮影した画像を添付していただくと、より詳しい診断が可能になります。適切なアドバイスのためにも、画像つきでのご相談をお待ちしております。

エクステンション

動物飼育の延長線は何本もあり、それぞれが色々な方向に広がります。その一つの延長線が動物の習性を学びに関連付ける道筋です。

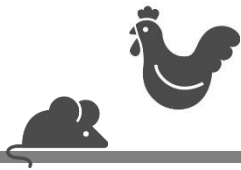
ニホンミツバチの話

ミツバチには、昔から日本に住んでいる「ニホンミツバチ（日本蜜蜂）」と、明治以降に海外から導入された「セイウミツバチ（西洋蜜蜂）」の二種類がいて、養蜂に利用されています。江戸時代にはニホンミツバチを使った養蜂が本格的にされていたようです。ニホンミツバチは神経質な性格をしていることから、明治以降に性格が温厚なセイウミツバチを導入し、西洋式の養蜂が盛んになったようです。（[一般社団法人 日本養蜂協会・日本の養蜂の歴史](#)より）

ニホンミツバチには、セイウミツバチにはない習性があることが解っています。（[里山のミツバチ](#)より）このうち、「オオスズメバチに対する集団的自衛行動」は、巣に侵入した自分の身体の数倍もあるオオスズメバチを、ニホンミツバチが集団で取り囲み、「布団蒸し戦法」で殺してしまう行動です。この行動は、「一人一人の力は弱くても、自分たちの特徴をもってみんなで取り組むと、大きな問題も解決できる」ことを子供たちに教えることができる逸話です。

栃木県獣医師会では、この逸話のプレゼンテーションを作成しました。ご自由に閲覧してご使用ください。（[ニホンミツバチのプレゼンテーション](#)）





根拠に基づく動物飼育

ハムスター

長所：

- 手乗りサイズなので、場所を取らない（室内飼育に適している）
- 比較的温厚な性格をしている
- エサ代が少なくて済む
- きれい好き

短所：

- 寿命が短い（二年くらい）
- 室外飼育に向かない
- ジャンガリアンハムスターでは、咬傷によるアナフィラキシーショックが起きた報告がある（それ以外の種類では、アナフィラキシーショックの報告はありません）
- 体調の変化に気付きにくく、突然死亡していることがある
- 環境ストレス、特に寒さに弱い
- たえず食べている必要がある



短所を克服する：

ジャンガリアンハムスターでは、咬傷によるアナフィラキシーショックが起きた報告がある

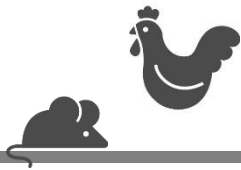
ハムスターには、ジャンガリアンハムスターの他にも、「ゴールデンハムスター」、「チャイニーズハムスター」などがあります。ジャンガリアンハムスターは比較的気が短いのですが、ゴールデンハムスターやチャイニーズハムスターは温厚な性格をしています。ジャンガリアンハムスター以外の種類を選択すると良いでしょう。

環境ストレス、特に寒さに弱い

環境ストレスには弱い傾向があるので、不特定の人間に長い時間触られたりすると弱りやすいです。寒さのストレスには非常に弱いので、冬場の夜間はヒーターを設置すると良いでしょう。

たえず食べている必要がある

身体が小さく消化管が短いため、ハムスターはたえず食べている必要があります。いつでも食べ物があるように配慮する必要があります。余るくらいに多めにフードを置くように心がけてください。



無料相談を、随時お受けしています

メールアドレス: tochivet@viola.ocn.ne.jp



無料相談の例

ある学校から、上の画像の相談が寄せられました。

下の画像でお返事をしました。

